

「学校教育とPTA」

～皆で創りあげるPTA活動を目指して～

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校PTA会長 小倉 弘

1 学校概要

本校は、明治33年に土浦中学校龍ヶ崎分校として創立され、明治35年に県立龍ヶ崎中学校となりました。昭和24年には県立竜ヶ崎第一高等学校と改称され定時制が併設され、昭和26年に初めて女子生徒が入学し男女共学となり「誠実・剛健・高潔・協和」の校訓のもと、今日まで堅実な歩みを受け継ぎ、今年で119年を迎えました。昨年度、県教育委員会が策定した県立高等学校改革プランにより、令和2年4月に附属中学校を開校し、併設型中高一貫教育校として新たな歴史を刻むことになりました。

平成26年度から5年間、文科省「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に指定され、科学者の育成、論理的思考の涵養、世界に通用する人材の育成を目指して、様々な活動を展開してきましたが、今回2期目の申請を行い、文科省から再び5年間の指定を受けました。「科学の芽」を養う1期目から、『問う力』を共通指針とした「たくましい科学系人材」の育成を目指す、新たなSSHへの取り組みが始まりました。

2 本校の教育方針と目指す学校像

(1) 教育方針

歴史と伝統を誇る重厚な校風の中で、豊かな教養と英知を備え、地域社会をはじめ国際社会に貢献しうる有為な人材の育成に努める。

(2) 目指す学校像

- ア 学力の向上を図り、学習指導の強化を図る。
- イ 学習習慣を確立させ、基礎学力の定着を図る。
- ウ 進路指導を充実させ、希望進路の実現に努める。
- エ 基礎的な生活習慣の確立と豊かな心の育成に努める。
- オ 体育・スポーツ活動を通じて心身の陶冶と体力向上に努める。
- カ 国際教育を推進し、広い視野を持った生徒を育てる。

3 本校PTAの目的及び事業

(1) 目的（PTA会則第2条）

本会は保護者教職員一体となり、教育の民主化を図り、生徒の福祉を増進することを目的とする。

(2) 事業（PTA会則第3条）

本会は、前条の目的を遂げるために次の事業を行う。

- ア 家庭と学校との緊密なる連絡
- イ 教育活動及び施設の充実
- ウ 福祉厚生施設の充実
- エ 教職員研究の助長
- オ PTA便りの発行
- カ その他必要な事項

4 本校PTA組織

- (1) 役員会
本部役員及び専門委員，正副支部長で構成
- (2) 本部役員会
会長：1名（保護者）
副会長：4名（保護者，校長）
監事：3名（保護者）
書記：3名（保護者）
幹事：6名（教職員）
会計：1名（事務長）

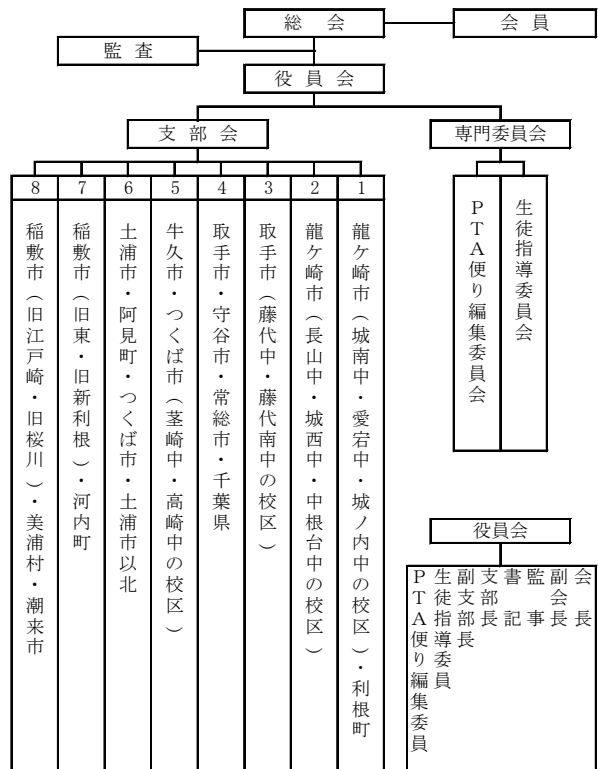
- (3) 専門委員会〔 〕内の数字は会員数
ア 生徒指導委員会〔40〕

- イ PTA便り編集委員会〔25〕

- (4) 支部会〔 〕内の数字は会員数

- ア 第1支部〔164〕
- イ 第2支部〔138〕
- ウ 第3支部〔77〕
- エ 第4支部〔168〕
- オ 第5支部〔200〕
- カ 第6支部〔40〕
- キ 第7支部〔31〕
- ク 第8支部〔45〕

PTA組織図



5 本校PTAの活動

- (1) 文化祭への参加（毎年6月上旬）

PTA企画として学校行事の白龍祭へ屋外テントでの豚汁販売と教室での展示で参加しています。本部役員が企画し，各支部の正副支部長と専門委員へ参加を呼びかけています。豚汁調理や展示の準備等を通して，学校での子ども達の活動の様子が具体的にわかり，子ども達の違った一面を知る良い機会でもあり，また，保護者同士の交流も深めることが出来る良い機会になっています。

- (2) 他校PTAとの交流

- ア 龍ヶ崎ブロック高等学校PTA関係者懇親会（毎年12月上旬）

龍ヶ崎市内にある4つの高校（本校，竜ヶ崎二高，竜ヶ崎南高，愛国学園高）のPTA関係者の懇親会を実施しています。幹事校は4校が持ち回りで担当し，今年度は本校が幹事校になっています。懇親会では，各校の近況報告などの情報交換も行われ学校間の交流を深めています。

- イ 八坂神社祭礼の合同巡視（毎年7月下旬）

龍ヶ崎市内の八坂神社祭礼にあわせて，本校PTAと竜ヶ崎二高PTAが合同で巡視を実施しています。巡視の後は懇親会を実施し，PTA同士の交流を深めています。

- ウ 川越高校との交流会（平成27年11月）

埼玉県立川越高等学校のPTAが1泊2日の視察研修旅行の初日に本校を訪問しました。川越高校もSSH指定校であり，本校の生徒達が川越高校のSSH研究発表大会へ参加したことがきっかけとなりPTA同士の交流が実現しました。川越高校のPTAの皆さんとは情報交換会を実施し，本校の施設も見学していただきました。

(3) P T A主催講演会の実施

ア 保護者対象講演会（平成 27 年 11 月）

家庭の教育力を高める目的で、保護者対象の講演会を企画し実施しました。講師は株式会社アピリティトレーニング代表取締役の木下晴弘氏で「お子さまの人生と向きあうために知っておきたい 5 つの法則」という演題でお話をうかがいました。講演の参加者は 120 名ほどでしたが、ほとんどの参加者から参加して良かったとの評価をいただきました。感想の一部をご紹介します。

○話の先が気になり、どんどん引き込まれていく内容でした。当たり前のように・当たり前過ぎて深く考えていなかった事。本当に大切にしなければならない事に気付けた気がします。うまく行動できるかわかりませんが、今日、生きる考え方を考えさせられるキッカケになったことは確かです。ありがとうございました。（3年 母）

○短い時間でしたが、本当に素晴らしい講演会に参加できた事に感謝しております。日々を振り返り、反省しつつ、今すぐにも、子どもとの時間も大切に一緒に悩み、励まし合いながら親子の人生を過ごしていきたいと思えます。木下先生のご講演は子ども達にも是非お願いしたいです。ありがとうございました。（1年 母）

イ 全校生徒対象講演会（平成 28 年 9 月）

前年度実施した木下晴弘氏の講演会の保護者アンケートで、多くの参加者が子ども達にも木下先生の講演を聞かせたいと回答したことから企画し実施しました。全校生徒の皆さんには龍ヶ崎市文化会館大ホールへ移動してもらい「君たちに伝えたい幸せの法則」という演題で講演会を実施しました。保護者にも講演会の案内を配付したところ、90 名ほどの参加者がありました。講演は生徒にも保護者にも好評でした。感想の一部をご紹介します。

○ご自身の体験を織り交ぜながら軽快な口調で、笑いあり涙ありのお話が聴けて、あっという間のステキな時間でした。幸せの法則の 1 つ「課題に向き合い続けることで成長が約束され人生は光輝く…」今、受験勉強を頑張っている子供たちにとって励みになる言葉だと思いました。この時期にこのような講演会が実施され、話を聴くことが出来た子供たちの未来が楽しみです。ありがとうございました。（3年 母）

○去年の講演会後のアンケートで、是非生徒向けの講演会を、とリクエストしたのが、このように実現していただき大変感謝しています。今回の講演は、学生向けにすっかりアレンジされていて息子も楽しく聞くことができたようで、話の内容をしっかりと覚えていました。ショッキングなほどの体験談も子供たちにとって良い社会勉強になったのではないかと感じています。（3年 母）

○どんなにつらく苦しいこと、うまくいかないことがあっても、それは成功するために、その後の幸せのためになくしてはならなかったことなんだと思って、何があっても一生懸命に生きたい。講演はすごく感動したし心に刺さった。今日のことを心に留めて過ごしたい。（3年 女子生徒）

○私は、夏休みの勉強が辛くて成績もなかなか伸びない志望校を変えてしまおうかなとか勉強手を抜いてしまおうかという迷いがありながら今回の講演を聞きました。終盤の野球選手の話に心が動かされました。講演が終わった後、頑張ってみようという気持ちになりました。これから辛いだろうし不安はありますが、努力が報われることを信じて乗り越えたいです。（3年 女子生徒）

ウ 全校生徒対象講演会（平成 29 年 9 月）

本校が平成26年度に文科省からSSHに指定されて以降、毎年SSH関連の講演会は実施されていましたが、その講師は数学者や建築学者などいずれも理数系の方々でした。そこでPTAとしては、SSH活動に縛られない異業種の講師による講演会を企画し、本校卒業生でTBSテレビアナウンサーの斎藤哲也氏を講師として招き「コトバのハナシ」という演題で講演会を実施しました。全校生徒の皆さんには前期末考査最終日の午後全ての試験が終わった解放感の中で龍ヶ崎市文化会館大ホールへ移動してもらい、斎藤氏の講演を聞いてもらいましたが、高校時代のエピソードやアナウンサーの心構えなどユーモアある語り口で進められた講演会は生徒達の興味関心を惹き付け有意義な講演会になりました。

(4) 「茶話会」の実施

ア 「茶話会」とは

「茶話会」はPTA会則や支部規約に規定のない活動です。平成25年度に第1支部の支部役員が『支部総会のみとなっている支部の活動の活性化を図るために新たな活動を実施し会員の相互理解も深めたい』という目的で始めた活動がきっかけで実施されるようになりました。

第1支部の「茶話会」は翌年以降も毎年実施され、3回目の平成27年度には第6支部との「合同茶話会」に発展しました。また、平成28年度からは第5支部が「茶話会」を実施し、平成29年度からは第4・第8支部が「合同茶話会」を実施するようになりました。そして、平成30年度には第3・第7支部が第4・第8支部の「合同茶話会」に加わり4支部「合同茶話会」となり、第2支部も「茶話会」を実施するようになりました。

平成25年度 第1支部

平成26年度 第1支部

平成27年度 第1・6支部

平成28年度 第1・6支部 第5支部

平成29年度 第1・6支部 第5支部 第4・8支部

平成30年度 第1・6支部 第5支部 第3・4・7・8支部 第2支部

平成31年度 第1・6支部 第5支部 第3・4・7・8支部 第2支部

上記のような経過をたどり、1つの支部が始めた「茶話会」と呼ばれる活動が充実発展し、他の支部にも活動の輪が広がり平成30年度には全支部が「茶話会」を実施するようになりました。

イ 企画・運営

実施日は各支部とも前年度の2月の役員会で決定し、学校で年度末に作成する次年度の年間行事予定表に記載していただいています。実施時期は、9月下旬から10月下旬の1か月程度の期間内でお願ひし、実施会場は全て学校の会議室を利用するようにしています。

実施案内は3月中に作成し、4月の新年度役員会で直接配付し、5月のPTA総会の際に出席者に直接配付し、8月下旬の夏休み明けの初日にお子さんを通して全会員に配付しています。

当日の参加名簿やレジュメ、茶菓等は、各支部役員の方々に準備していただき、会場の準備等は支部担当の先生方をお願いしています。また、参加者へのアンケートを実施し、そのデータ処理も支部役員の方々にお願いしています。

ウ テーマの設定

第1支部が平成25年度に初めて実施した「茶話会」のテーマは、支部役員があらかじめ設定したものでした。しかし、回を重ねる毎に会員の皆さんからテーマに関するさまざまな要望が出てくるようになり、それらを精査して1つの話題に絞るようになりました。次の(ア)～(キ)は、第1支部「茶話会」(平成27年度からは「合同茶話会」)のテーマの変遷です。他の支部の「茶話会」もこれらのテーマを参考にしつつ、支部会員からの要望を取り入れながら設定しています。

(ア) 平成25年度：「支部の皆さんが竜一高・竜一生に望むことは何ですか？」

(イ) 平成26年度：「SSHって何？」

～スーパーな竜一高・竜一生を目指して支部の皆さんが出来ることは何？～

(ウ) 平成27年度：「高校生活で親がサポートすべきこと」～家庭学習、受験、部活、食事など～

(エ) 平成28年度：「大学受験に関すること」～進路選択、塾、親と子の距離感など～

(オ) 平成29年度：「効果的な家庭学習と家庭学習における親の役割」

(カ) 平成30年度：「家庭学習・学校生活・大学受験・学習と部活動の両立・予備校や塾の活用・飛龍館での学習・課外・模擬試験・スマホの利用等」

(キ) 平成31年度：「大学入試改革への対応について」～共通テスト、英語外部試験など～

エ 独自の資料作成

平成 29 年度には、テーマに沿った事前準備として、成績上位層の卒業生保護者へ『お子さんの家庭学習に対する保護者の心得・対応について』のアンケート調査を依頼し、その集計結果をもとに資料を作成し「茶話会」参加者へ配付しました。次に、資料の一部をご紹介します。

1 子どもの家庭学習に対して、効果があった親の心得や対応

- 学習面に対しては、本人と先生を信じて一切口出しをしなかった。子どもの意見に耳を傾け、本人の気持ちを尊重してあげられた。
- 進路を決めるまで親子で志望校、大学卒業後の進路等、いろいろと話し合いをしました。結局、本人の意志を尊重し、子どもを信用し、勉強面にはあまり干渉しないで家族全員いつも通りの生活を心がけた事が良かったかと思えます。
- 親が受験に対して過敏になっているような言動や態度をとらない事が大切だと思いました。母親として勉強の事は何もできないけれど、弁当作りや食事面でのサポートはこれまで通りやって応援するよ！という態度が良かったようです。子どもなりに頑張っているのに親の言動に左右されて気持ちがブレるのは良くないと思いました。
- 勉強に関してはよくわからないので基本は見守ることで何か助けをもとめてきた時は一緒に考える。子供たちは、わりとしっかり自分の考えをもっているので子どもの意見を尊重すること。

2 子どもの家庭学習に対して、逆効果だった親の心得や対応

- 頑張っている本人に励ましの言葉をかけたくなるが、この励ましがかえってプレッシャーになることもある。どんな言葉も大切なのはタイミングだと思う。
- 十分すぎるくらい頑張っていたが、成果が出ず焦っていた時、投げやりな事を言ったので、気持ちを楽にしてあげたいと思い「そこまで頑張らなくても…」「他の選択肢もあるよ」等と言ったら、せっかく頑張っているのにと逆効果でした。本人は違う対応をして欲しかったみたいです。
- 今のままの勉強のやり方で大丈夫？などと聞いたりする事は良くないと思う。高校で先生方とかなり突っ込んでやり方や進め方、弱点などを話し合っているので余計な事は言わない方がよいと思いました。
- 子どもに期待しすぎる事。

3 子どもの家庭学習に関して、現役高校生の保護者の方々へのアドバイス

【1・2年生の保護者の方々へ】

- 早い段階から目標が決まっていると、本人のやる気も出て、また意識も変わってきます。早いうちに話し合いオープンキャンパス等に行かれるのもいいかと思えます。
- 最低限の学習は必要だと思えますが、部活やその他本人のやりたい事を制限しても学習効果は上がらないと思えます。他の事で頑張れる子は、受験に関しても頑張れると思えます。
- いろいろ言いたくなるとは思いますが、基本は見守ることがいいと思えます。ただ、受験制度や大学の情報など昔とはだいぶ違ってきているので、情報は知っておいたほうがいいと思えます。

【3年生の保護者の方々へ】

- 本人がよく分かって頑張っている時なので、意見を尊重し見守ることが大事だと思います。また、色々な方向性を考え、対処できるようにしておくともいいと思えます。
- 3年生だからこそ、子どもの自主性と考えを尊重するようにしてあげたらいいと思えます。少し回り道しても必ず納得して全力で進んでいくと思えます。
- 保護者として、ある程度の情報収集は必要だと感じました。どうしても不安になってしまうこともあるかもしれませんが、お子さんを信じて見守ることも大切だと思います。

上記の資料については「茶話会」終了後のアンケートで次のようなご意見をいただきました。

- 自分が逆効果な事しかしてない事を反省。もっと子供を信じようと思った。結局は本人のやる気の問題なので遠くから見守りたいと思えます。(1年 母)
- 卒業生保護者アンケート参考になりました。「家庭学習に対して逆効果」の対応は今現在してしまっていることが多く反省しました。と同時に参考になり、これから気を付けていこうと思えます。(1年 母)
- 卒業生の合格体験記と不合格者の体験記もあるといいです。(子供も保護者も参考になるかと)(3年 母)
- 卒業生保護者アンケートは上位合格者の保護者だけでなく、希望通りに進学できなかった卒業生保護者のアンケートも知りたいですし、違いを比べてみたかったです。上位の子は数%にしか過ぎないので、多くの子は希望通りに進学できなかったと思うため。(1年 母)
- 卒業生保護者アンケートは、とても興味深く読みました。出来たら、中間層の偏差値の方々の意見など聞かせていただけたらと思えます。(成績上位者の方は、生徒も保護者も万全だと思いますので)(3年 母)

資料が参考になったというご意見を数多くいただきましたが、資料の調査対象者が成績上位層の卒業生保護者のため、成績中間層や成績下位層の子ども達の家庭状況が反映されていないというご指摘もありました。今後の「茶話会」では、このようなご意見を参考にしつつ、効果的な資料を作成して更に充実した「茶話会」が実施出来るように工夫していきたいと考えています。

オ 「茶話会」の充実発展

8つの支部会には、それぞれ担当の先生方が7名～8名程度割り振られており、「茶話会」への参加もお願いしています。平成25年度の最初の「茶話会」では、担当の先生が進行役になって会を進めました。平成26年度はSSH担当の先生に「SSHって何？」というテーマに沿った講義を、その翌年は2学年主任の先生にテーマに関連した講義をしていただきました。この時の机や椅子の配置は、長机を「口」の字型にし、その外周に椅子を置いて全員が対面して座る方式でした。「茶話会」という名称から連想される、和やかで気軽に話ができる雰囲気ではなかったかもしれません。

平成29年度の第1・6支部「合同茶話会」では変化がありました。過去2年間「茶話会」に参加した経験のある3年生の支部役員からの提案で、参加者をいくつかのグループに分け、グループ毎の机の配置にし、グループ毎に話を進める形式にしました。また、グループは学年を縦割りにし、全てのグループで1年～3年の参加者が均等になるよう割り振りました。担当の先生方も各グループに1名～2名程度配置し、助言者の役割をお願いしました。この時のアンケートをご紹介します。

- 子どもが1年生で第一子のため、上級生の保護者の方々の話を聞いてとても良かったです。大学受験の時の注意点や部活と学業の両立、本当に楽しい時間で、ためになる話でアツという間でした。来年も絶対出席いたします。今後よろしく願います。(1年 母)
- 他学年の保護者の方のお話は大変参考になりました。子どもからは聞けない学校の情報や先生方からアドバイスを頂けて良かったです。また、共通の悩み等もあり安心しました。是非また参加したいと思います。(1年 母)
- 大変有意義な時間でした。先輩のお母様方より沢山のアドバイスをいただきました。また、先生には職員室への質問の仕方や校則について教えて頂き、お家で娘にすぐ話してあげられたらと思います。今回、茶話会を開催して頂いた皆さまに感謝申し上げます。(1年 母)
- 上の学年のお母さんに、親ができる事を教わった。又、下の学年のお母さんにアドバイス出来た。1～3年でグループに分かれての茶話会は良いと思います。来年も参加させていただきます。お茶とお菓子、お土産まで準備していただきありがとうございました。(2年 母)
- 班に分かれての話し合いは、とても良かったと思います。人数も多いので、今回ぐらいの人数に分かれるのはちょうど良かったです。(2年 母)
- 班ごとにした事で、前回より発言しやすくて良かったです。(2年 母)
- 指定の席ということで、知らない方ばかりの中、話が出るのか不安でしたが、この人数でのグループでの話し合いは、気軽に色々とお話しが聞けて良かったです。(2年 母)
- 1年生から3年生が同じ場での話し合いは本当に貴重な事で、いろいろな話が聞けて楽しかったです。(3年 母)
- 同じタイプの子供さんがいる事がわかって良かった。先生と1対1よりも、親がたくさんいて、先生にも聞きやすい。(3年 母)
- グループ別は話しやすい。今迄が一番良かった。(3年 母)
- 最後の茶話会でした。班ごとの話し合いだったので大人数の時より発言しやすくて良かったです。役員の方々、お疲れ様でした。この伝統をぜひ続けていってください。(3年 母)
- 外部模試や共通テストなど、具体的な話が出来て良かったと思います。また、それぞれの学年の話題も共有でき、学年を越えたふれあいがあるのも保護者にとって良いことではないでしょうか。(支部担当の先生)
- 昨年度の参加者が主導的な役割をされ、初参加者が発言しやすい雰囲気であった。毎年継続することで、より良い会となることが予想される。(支部担当の先生)

アンケートから、学年縦割りのグループ分けは概ね好評で、保護者同士はもちろん、先生方とも会話しやすい雰囲気になったことがわかります。また、先生からも前向きなご意見をいただきました。この結果から、平成30年度からは、全てグループ分けで実施されるようになりました。

このように「茶話会」は、代々の保護者の皆さんが活動を通して創意工夫し皆で創りあげてきた活動と言えるでしょう。今後も、その時々熱心な参加者の皆さんからいただいた貴重なご意見ご要望を取り入れながら更に充実発展していくことと思います。

6 今後の課題

冒頭の学校概要でご紹介しましたが、本校は令和2年度から附属中学校を開校し、併設型中高一貫教育校となり、令和4年度には、生徒の在籍は高校生720名、中学生120名になります。今後、早い段階で併設型中高一貫教育校としての本校PTAの会則変更や組織改編の必要があると思います。また、「茶話会」やPTA主催講演会などの活動に、中学生や中学生の保護者の方々が参加しやすい実施方法を検討していくことも必要でしょう。更に、現在でも8つの支部の会員数に片寄りがある中、在籍数が減ることで支部間の会員数の片寄りが顕著になり、支部の組み替えや統合が必要になる可能性もあります。この他にも様々な課題が出てくると思いますが「皆で創りあげるPTA活動」の伝統を活かし、皆さんで協力して課題に立ち向かえることと思います。